

Topic of town

まちな話題



河南 定員超えの人気 みんなでヨガ!



気軽にヨガを体験し、心身を整える企画「みんなでヨガ!」が3月1日、遊楽館で開かれました。参加者は健康運動指導士になって、誰でもできる「ワシのポーズ」や「門のポーズ」などのヨガポーズに挑戦しました。腕や足がじっくりほぐされ、身も心も癒される時間を過ごしました。催しは河南公民館が石巻市スポーツ協会と初めて企画し、当初の定員の60人を超える応募が集まりました。

河北 すず塗って笑顔に

安寧願うアンバサン

無病息災や大漁豊作を願う長面地区伝統の奇祭「アンバサン」が、2月8日に北野神社・大杉神社で開かれました。神職から氏子、さらに参加者同士で、かまどのすずを塗った大根の断面を顔につけ合うのが恒例です。互いの顔を見合わせて笑顔になり、最後は海に向かって地域の安寧を願う唱え言葉を繰り返しました。300年以上前から続く行事で、令和元年には市の指定民俗文化財に指定されました。



互いの顔を見合わせて笑顔になり、最後は海に向かって地域の安寧を願う唱え言葉を繰り返しました。300年以上前から続く行事で、令和元年には市の指定民俗文化財に指定されました。

石巻 冬の味覚に舌鼓

いしのまき絆交流鍋まつり

さまざまな鍋料理が一堂に会する「いしのまき絆交流鍋まつり」が2月21日と22日、かわまち交流広場で開かれました。石巻観光協会が姉妹観光協会や関係団体の協力で始めた催しで、今回は第2回です。山形県米沢市の芋煮鍋や秋田県湯沢市のきりたんぼ鍋をはじめ、地元になじみのあるカキ鍋、はっと汁、おくずかけなど20種類の鍋料理が集まりました。大抽選会やステージイベント、キッチンカーの出店もあり、2日間とも多くの人でにぎわいました。



雄勝 3年目で規模も拡大

古民家民宿のひなまつり

古民家民宿の「海の家荒浜荘追波や」で2月28日～3月4日、ひなまつりイベントが行われ、豪華な七段飾りなど華やかなひな人形が展示されました。令和6年に始まったおもてなしの試みは年を追うごとに規模を拡大しており、今年は女将の阿部徳子さんとその友人らの手仕事品も並びました。会場では手作りの甘酒やおしるこも振舞われ、多くの人が作品を鑑賞しながら会話を弾ませていました。



会場では手作りの甘酒やおしるこも振舞われ、多くの人が作品を鑑賞しながら会話を弾ませていました。

桃生 中学卒業した思い出に

ハナモモの苗木寄贈

地域自治組織の「ものう夢ネットワーク」は3月5日、地元の桃生中学校の令和7年度卒業生50人に1本ずつハナモモの苗木を寄贈しました。モモは古くから厄よけ力があるとされ、生徒たちの多幸を願いました。寄贈はモモの花咲く魅力的な地域づくりの一環です。各家庭で植えてもらい、懐かしい思い出やふるさとへの愛着を育むことを期待しています。



北上 ほのぼの手作り作品

公民館でにっこり美術館

北上公民館で2月25～27日、令和7年度の特別企画展「にっこり美術館」が開かれました。地元を中心とした約80人が、趣味や各種講座で制作した衣服や小物の手芸品、折り紙や紙バンドの立体作品など184点を並べました。手作りの温もりあふれる作品ばかりで、特にこども園の園児の絵や工作が訪れた人を笑顔にしていました。展示はこれまで10月の「北上にっこりまつり」に合わせて行っていて、2月の開催は初めてでした。



展示はこれまで10月の「北上にっこりまつり」に合わせて行っていて、2月の開催は初めてでした。

牡鹿 網地島をアートの島に!

アート作品「針の目」の修復作業

2月15日、網地島で一般社団法人Reborn-Art Festivalが主体となり、島民や関係者らと令和元年に涛波岐埼灯台周辺に制作された、ピンホールカメラと水琴窟の原理を用いた光と音のインスタレーション作品「針の目」の修復作業を行いました。これは新型コロナウイルス感染症拡大の影響などで通年での一般公開に至ってなかったことや、網地島をアートの島にし、交流人口の増加および地域経済の活性化につなげることを目標に行われました。作業は1週間程度かけ行われ、現在は、一般公開されています。



作業は1週間程度かけ行われ、現在は、一般公開されています。